

乳がん

子宮^{けい}頸がん

検診受診率 80%チャレンジ

安心して働く職場づくりの一歩として、貴社・貴団体もぜひ参加しませんか？

「Working RIBBON (W RIBBON)」は、経営幹部やリーダーが中心となり、企業の女性のがん対策を牽引するプロジェクトです。本プロジェクトでは、経営者の視点も取り入れた対策の推進により、大切な従業員とその家族の健康を守ります。



がん対策推進
企業アクション

ひとくらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

Q. “80%チャレンジ”とは？

企業・団体における乳がん検診や子宮頸がん検診の受診率向上を目指す取り組みです。

参加企業・団体は「80%チャレンジ宣言」を行い、自社の目標達成へ向けて、受診率向上に取り組みます。

なお、参加いただいた企業・団体名は、がん対策推進企業アクションの公式ホームページに掲載されます。



乳がんは、生涯で9人に1人が罹患し、子宮頸がんは、20~30代に増えています。
早期発見・早期治療すれば、90%が治ります。
貴社の女性社員のほとんどが検診対象者です。
「80%チャレンジ」にぜひご参加ください！

国が勧めるがん検診は

名称	年齢 / 回数	方法
乳がん	40歳以上 2年に1回	問診及び 乳房X線検査（マンモグラフィ） ※視診・触診は推奨しない
子宮頸がん	20歳以上 2年に1回	問診・視診、 子宮頸部の細胞診及び内診 ※住民健診では、30~60歳の女性を対象に 「5年毎のHPV検査単独法」も選択可能

社内通知の際のツールや情報は
「がん対策推進アクション」にお問い合わせください

厚生労働省委託事業 がん対策推進企業アクション

Working RIBBONのサイトはこちら

<https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/workingribbon/index.html>

